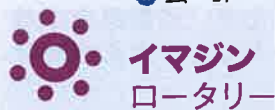


THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2022 ▶ 2023

Rotary 

# 鳥取北ロータリークラブ

● 会長……千金 周一 ● 副会長……入江 容子 ● 幹事……寺本 光孝  
● 会計……霜村 哲男 ● SAA……田中 和夫 ● 広報・プログラム委員長……水野 治郎

イマジン  
ロータリー

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

国際ロータリーのテーマ

E-mail [kitarc@infosakyu.ne.jp](mailto:kitarc@infosakyu.ne.jp) <http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/>

本日の例会

2022年8月2日(火) 四つのテスト 第2950回

- ◆ 君が代・奉仕の理想 ◆ 会員卓話  
「企業合併を経験して」  
谷口昭二さん
- ◆ 献立 カレー
- ◆ 委員会事項  
誕生日御祝

※例会終了後、定例理事会「例会場」

次週の例会

2022年8月9日(火) 四つのテスト 第2951回

- ◆ ロータリーソング  
我らの生業
- ◆ 卓話  
第1グループガバナー補佐  
廣田和幸氏
- ◆ 献立 米山ミール

※10:30~クラブ協議会4階「大山の間」  
8/16(火) 休会

## 先週の例会

2022年7月26日(火)

### 会長挨拶

本年度の地区大会は10月の1日2日に津山で行われ、皆さんが参加される本会議は10月2日の日曜日になります。今回は津山での開催ですので1時間半程で到着しますが、仲間と貸切りバスに乗って出かけるのはちょっとした旅行気分です。コロナ禍における地区大会への参加というのも大変だと思いますが、開催されるのであれば積極的に参加していただきたいと思ひますし、参加された方には良い思い出となる地区大会になるように親睦委員会の方々には知恵を出して頂きたいと思ひます。

来月、8月9日の例会にはガバナー補佐が来られ、例会前にはクラブ協議会が行われます。これは8月23日に行われるガバナー公式訪問例会に向けての準備でもあります。鳥取北クラブが現在どのような活動をしているかを各委員長や役員がガ

バナー補佐に報告し、ガバナーは補佐からの報告を受けたくて公式訪問例会へ来られます。ガバナーは一年かけて鳥取、島根、岡山の各クラブを訪問され各クラブへの理解を深められているのに対し、私達が地区に触れる機会のごく僅かです。是非ともこの機会に地区に触れ、他のクラブの会員に触れていただければと思ひます。

現在、世界中には3万6千以上のロータリークラブがあり、120万人近い会員が活動しています。日本においても2,236のクラブと8万6千人の会員が活動しています。しかし数字を聞いただけではこのスケール感を理解する事ができませんし、国内でも人口の少ない地方の街にあるロータリークラブの会員である私とR Iが繋がっている実感も持てません。だからこそ、その架け橋になるのが地区ガバナーであり、地区大会であって欲しいと願っています。

### 幹事報告

- 1 到着文書 特になし
- 2 例会変更・メーキャップ情報  
特になし

### 3 その他連絡事項

- ・ 今後の日程について  
8/9 ガバナー補佐を迎えて例会  
8/16 休会  
8/23 移動例会 鳥取シティホテル公式訪問  
8/30 通常例会
- ・ 10/2(日) 地区大会 津山

たくさんの参加をお願いします。入会3年未満と理事は是非とも参加をお願いいたします。また、登録のみも宜しく願いいたします。

### ◎会計決算報告

2021~2022年度会計決算報告が、報告書を以て米田会計からありました。併せて、会計監査結果についても報告がありました。

### 委員会事項

#### ◎出席率報告

7月26日 会員47名中 欠席15名 68.09% (zoom1名)

#### ◎入会記念日御祝

霜村哲男さん(27年) 田邊賢二さん(25年)  
小林弘尚さん(15年) 田中英剛さん(5年)  
大谷芳徳さん(5年) 水野治郎さん(4年)  
結城崇彰さん(1年)

### \*スマイル報告

(本日11,000円 累計56,000円 前回45,000円)  
千金周一さん あまりの暑さに上着を着てくるのを忘れて慌てて取りに帰りました。気持ちが緩まないように頑張ります。

入江容子さん 天気のだまらない今日この頃です。皆様、おからだ気をつけましょう。

寺本光孝さん 10日間続いた世界陸上が終了しました。ずっと観て感動しました。

植田哲朗さん YouTubeで鳥取北RCを検索すると、昨年の合同IMと、2015、2019年の年忘れ家族会のジュエルズの動画がアップされていました。入江副会長と山根敏男さんは美声でしたよ。

森下泰年さん 先週末、夫婦で東京にいる子供のところへ会いに行く予定でしたが、コロナの急拡大に伴い、私は気をつけて行くつもりでしたが、妻の反対で断念しました。今年も寂しい夏休みになりそうです。

玉木裕一さん 中3の娘と共に英語検定試験を受けました。3級から受けなおして、先日準2級も合格しました。高校中級程度レベルらしいです。合格、嬉しかったです。

田中英剛さん 昨日は福岡日帰りで研修会に参加してきました。明日からは高野山参拝をしてきます。来月からはお盆の棚経でまたお休みしてしまいますが、きちんとメーキャップしておきます。

早退 1件

※2大御祝(本日10,000円 累計12,000円 前回2,000円)

霜村哲男さん 田邊賢二さん }  
小林弘尚さん 田中英剛さん } 入会記念日御祝  
水野治郎さん

### 「新委員長活動計画発表」

#### クラブ運営・親睦委員会

委員長 田村博信さん

従来リーダー制で担当を分担していましたが、廃止されたことから、当委員会では月別に担当を替え、全員参加型の委員会運営を行います。

特にイベント関連では、地区大会、一大イベントである年忘れ家族会に加え、懸案事項である高知北RCとの交流、東部5クラブ合同例会の担当が控えています。新たな会員もおりますので適宜IDMを開催し、アイデアを募りながら、会員の皆様に楽しんでいただけるようメンバー同知恵を絞って参りますので、何卒よろしくお願いします。

#### 職業奉仕委員会

委員長 田村文男さん(千金会長代行)

私も田村委員長も職業奉仕はロータリーの基本であり、会員全員がこの委員会のメンバーであると考えています。

職業奉仕とは、各自の職業を通して社会のニーズに対応する努力を重ね、自らの道徳的能力を高め、それを職場や社会に反映させることが奉仕になるという考えです。自身とその職場が社会の模範となるように努力することがロータリーの奉仕活動の第一歩だと言えます。

そして私達が学ぶべき道徳的能力の根本は想像力です。想像力を駆使して試行錯誤を繰り返すことで、科学や社会は進歩していきます。新しい概念や新しい職業は想像力の集積の結果として生まれていきます。本年度のテーマである「想像を超える創造」の原点は正にここにあります。皆で四つのテストの意味を噛みしめながら職業奉仕への意識を高めていきたいと考えています。

#### 青少年奉仕委員会

委員長 塚田隆さん

#### 【方針】

青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを目指すものです。

この奉仕の理念を実践するため、当委員会は四つの柱を通じて、次代のロータリーを支える若者を育成していきます。

1. 青少年交換・次世代交換
2. 青少年指導者養成プログラム (RYLA)
3. インターアクト
4. ローターアクト

#### 【事業計画】

○鳥取ローターアクトクラブ (RAC) の提唱クラブとして、ローターアクターが活動的に奉仕を楽しむことができる場となるようクラブの再生に努めます。特に今年度は、ロータリアンと一緒に社会奉仕活動に取り組みます。

○RYLAを地区ブロック内で開催する可能性を探り、実現します。そのことによって、ブロック内の青年にRACを紹介し会員増強につなげます。

○インターアクトからRYLAを経てローターアクトへ。そのプログラム間の連携を強化します。

○RACは地域で育てるというRIの理念を実践するためインターアクトの活動も支援します。

○様々な事情の内学業に励んでいる生徒を卒業後の活躍を期待し「ロータリー学生表彰」として表彰します。

#### WEB推進委員会

委員長 秦野諭示さん

今年度新たに作られた特別委員会です。WEB化即ちデジタル化を進めることによって、クラブ活動を活発にするという目標をもっています。今年度、3つのことに取り組みます。

1. WEBミーティングの定着

前年度、松本会長はじめ関係の皆さんのお骨折りで、リモートでの例会出席が可能になりました。今年度は、この仕組みに磨きをかけ、使いやすくしていきます。

2. WEB化・デジタル化について理解を深める  
取り組み

世の中ではDXということが言われています。DXに限らず、WEB化、デジタル化について、卓話などによって学びます。

3. 新しいWEB化・デジタル化の検討

ロータリーの基本の一つは親睦です。親睦においては、デジタルよりアナログが適しています。今日のように実際に顔を合わせて、言葉を交わしながら、親睦と友情を確かめるのが基本です。しかし、もっとデジタル化して、ロータリーの目的が達成できる仕組みはないのか、それを考えて実行していきます。他クラブでの先進事例も勉強しながら、北クラブにあったデジタル化を考えます。

(担当 秦野諭示)